

# ごみと戦う人々

さっぽろ  
ごみ  
奮闘記

毎日、市内の至る所で生じ続けるごみ。  
地域やごみの現場には、私たちが捨てたごみと、  
日々向き合い、奮闘する人々がいます。  
このシリーズでは、そんな「ごみと戦う人々」に  
インタビューし、その活動や思いに迫っていきます。

[詳細] 環境事業部企画課 ☎211-2912



## 現場の様子

「雑がみ」の選別ライン。  
流れていく大量の「雑がみ」  
の中から、段ボール・  
新聞・雑誌や、違反ごみ  
を見つけ出し、ラインから  
取り除いていく。

## Vol. 4

中沼雑がみ  
選別センター  
鈴木 雅詞さん

21年7月から新たな収  
集品目になった「雑がみ」。  
鈴木さんは、収集車が運  
び込んだ「雑がみ」の選  
別作業をはじめ、工場内  
の機械の整備や安全面  
の確保に携わっています。



## 1日70トンの「雑がみ」を選別し、 リサイクル業者へ引き渡す

—「雑がみ」の選別とはどのような  
作業ですか？

収集された「雑がみ」を「製紙原料に  
なる紙」「段ボール・新聞・雑誌」「それ  
以外の紙くずなど」に分類し、リサイク  
ルできる状態にすることです。分類後  
はコンテナ大に圧縮し、製紙会社など  
に引き渡しています。

—1日で選別する「雑がみ」の量は？  
1日で約70トンを選別します。2つのライ  
ンで「段ボール・新聞・雑誌の抜き取り」  
「ビニール袋の除去」「紙類の細かな  
選別」の順に作業をしています。

—70トンもの「雑がみ」の選別には、  
スピードが求められると思いますが。  
その通りです。しかし、明らかに「雑が  
み」以外の物が混ざっていることで、  
作業が遅れることがあります。びんや  
缶のほか、炊飯器や包丁が入ってい  
たことも…。迅速に作業しつつ、細心  
の注意を払わなければなりません。

—段ボール・新聞・雑誌が混ざると  
作業が妨げられると聞きました。

ええ。混入量が多いと選別に時間が  
掛かり、作業コストが増えます。特に、  
機械に詰まったり、ラインを覆って選別  
の対象物を見えづらくしたりする段ボ  
ールには手を焼きますよ。

—効率よく選別作業を行えるよう  
私たちにできることはありますか？

段ボール・新聞・雑誌は集団資源回  
収や回収拠点に出してもらえれば、作  
業がぐっと効率的になり、コストも減ら  
せます。このセンターは、市内で最大  
の「雑がみ」選別施設です。作業が  
滞ることのないよう、これからも責任感  
を持って選別を続けていきます。



選別を終え、圧縮した「製紙原料になる紙」。リサ  
イクル業者の下でトイレットペーパーや板紙に生まれ  
変わる

## ☑ CHECK!



## ● ごみの分別クイズ ●

- Q1 電子レンジやポータブルストーブは燃やせないごみに出せるか？
- Q2 植木鉢やプランターの土は何ごみの日に出す？
- Q3 ハンガーは何ごみの日に出す？

【答え】1: 指定袋に入れば燃やせないごみに出せる。入らなければ大型ごみとして出す  
2: 燃やせないごみの日  
3: プラスチック製は燃やせるごみの日、針金製は燃やせないごみの日

## 市のごみ排出量の現状

— 目標400g以下 —  
一人1日当たりの平均排出量  
**397g**

数字はごみ排出ルールが変更になった  
21年7月～22年11月の廃棄ごみの平均です。